

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 11 No.20 2009年10月31日号

編集:editor@cnar.jp 広告:pr@cnar.jp 読者登録:<http://cnar.jp>

Copyright 2009 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

ライフサイズ社、日立ハイテク、手のひらサイズのビデオ会議システム他 220 シリーズ新機種を発表

ライフサイズ・コミュニケーションズ株式会社(東京都新宿区)と、日本での国内総代理店である株式会社日立ハイテクノロジーズ(東京都港区)は、HD ビデオ会議システムの新製品「LifeSize Passport(ライフサイズパスポート)」および「LifeSize 220 シリーズ」を10月21日国内向け発表した。

LifeSize Passport

LifeSize Passport は、コーデック部の寸法が、幅 206mm x 121mm x 33mm、重さが 450g で、手のひらにのるほどのサイズと重さを実現した。(カメラを除く。ただしケーブルと電源アダプタを一緒にすると 1.2kg)



LifeSize Passport with Focus(ライフサイズ社資料)



LifeSize Passport with PTZ(ライフサイズ社資料)

「LifeSize Passport with Focus(ライフサイズパスポート ウィズ フォーカス)」と「LifeSize Passport with PTZ(ライフサイズパスポート ウィズ PTZ)」の 2 機種を発表。同社が販売する HD ビデオ会議システムラインナップの中では、エントリーモデルになる。

カメラは、Focus については、固定焦点カメラ、PTZ については、パン・チルト・ズーム機能付きカメラになる。それぞれ「LifeSize Express with Focus」と「LifeSize Express with PTZ」に使われているカメラとおなじもの。

通信プロトコルは、H.323 と SIP、そして Skype 音声に対応。映像は、HD 720p30 フレーム/秒、また音声は、HD オーディオに対応。1Mbps で HD ビデオが可能だが、帯域は、2Mbps までサポート。データ共有 (H.239) については、受信のみ対応。本体とディスプレイとは HDMI ケーブルで簡単に接続できる。

また QoS 機能としての「Adaptive Motion Control(アダプティブ・モーション コントロール、AMC)」に対応。AMC は、変動する通信帯域にダイナミックに映像と音声のクオリティを調整する機能。

さらにユーザの投資保護の観点から、ソフトウェア更新による新機能の追加にも対応している。その他、ビルトインリンガーで PC ユーザに着信通知も可能。

「数年前にはこのサイズと重さのコーデック(カメラを除いた本体部分)を開発するとは想像していなかったが、そのコーデック部に搭載する半導体部品(ASIC)のサイズが小さくなるとともに高性能化が進んだため、全体的なコーデックのサイズと重さを小型軽量化することができた。もちろん、従来の LifeSize 製品と同じ HD クオリティを実現している。」(ライフサイズ、日立ハイテク)

CNA レポート・ジャパン橋本も実機を拝見したが、ミニノート PC を思い出すほどの見た目の大きさと重さで、もちろ

ん A4 サイズ鞆や手提げかばんでも楽に持ち運びができるサイズ。80年代や90年代に見ていたビデオ会議システムの大きさ、性能や機能などを思い出すと大きな技術の進化を感じる。

「カメラも含めれば完全なポータビリティを実現したとはいえないかもしれないが、社員がテレワークで使うために会社から自宅に持ち帰ったり、あるいは、セミナー会場の様子の中継したりするため会場へ持ち運ぶといった用途などに活用できる。従来の他社同等システムと比較して、サイズ、重さ、価格全てにおいて 1/3 に抑えることでユーザの裾野を広げるとともに、小型サイズではあるが“専用端末”を、幅広い用途に活用する場面は増えると思っている。」(ライフサイズ)

特に、Passport は、従来の LifeSize Express シリーズよりもより低コストを実現しているため、導入コストメリットをいかした大規模導入が可能になると同社では期待している。「今までは予算の関係上、HD ビデオ会議の設置拠点数に限りがあったが、Passport によって、1 台あたりのコストがさがりため、同じ予算でもより多数の拠点に設置ができるようになる。」(日立ハイテク)

今回ライフサイズ社の Passport は、Skype との音声通信に初めて対応した。LifeSize Passport の画面から Skype を選択するだけで、Skype ユーザとコミュニケーションができる。

同社のプレスリリースでは、Skype 機能と Passport の統合をさらに進めていく考えを表明している。Skype ユーザ 4 億 8,000 万ユーザとの音声通話ができることは専用端末メーカーとして重要な意義があると考えているからだ。

価格は、LifeSize Passport with Focus が、398,000 円、LifeSize Passport with PTZ が、498,000 円 (ともに税別価格)。発売は、11 月からの予定。

「LifeSize Passport は、持ち運びが簡単なため社内貸し出し用、自宅持ち帰りができるパンデミック対策として、または、コストパフォーマンスが高く Skype との音声通信もできることから中小規模向けのソリューションとして、あるいは、Web 会議システムとの連携ソリューションとしても、展開していきたいと考えている。」(日立ハイテク)

LifeSize 220 シリーズ

LifeSize 220 シリーズについては、「LifeSize Express 220」、「LifeSize Team 220 Dual MicPod」、「LifeSize Room 220」を発表した。

昨年 10 月に発表した 200 シリーズにおいて、1080p30 と 720p60 に対応した製品は、LifeSize Room 200 のみで、LifeSize Team 200 と LifeSize Express 200 は、720p30 であったが、今回発表の Room、Team、Express の 220 シリーズ 3 機種において、全製品が 1080p30 と 720p60 のフルHDに対応したことになる。



LifeSize Room 220



LifeSize Team 220



LifeSize Express 220

内蔵多地点接続機能については、1080p30/720p60 のフルHDで CP 方式(多画面分割表示、Continuous Presence) もしくは、VAS 方式(Voice Activated Switching)で接続。LifeSize Team 220 は、4 拠点に対応、また LifeSize Room 220 は、従来の 6 拠点から今回 8 拠点まで拡張した。

データ共有については、LifeSize Passport は、受信のみでシングルモニターだが、一方、220 シリーズについては、送受信が可能でデュアルモニターにも対応する。フルHDの

データ表示が可能だ。

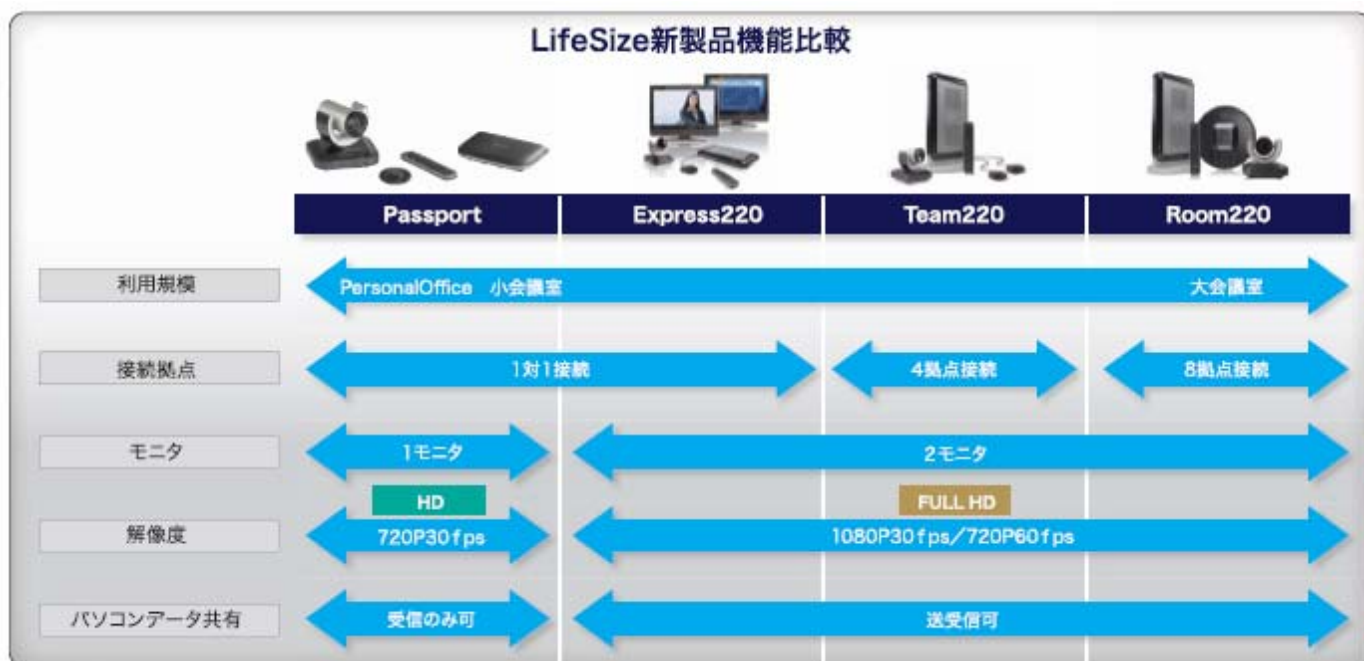
さらに、Adaptive Motion Control(AMC)を装備。変動する回線状態にダイナミックに対応。「高品質なモーションコントロールと鮮明度を実現した。」(ライフサイズ)

価格は、LifeSize Express 220 が、998,000 円(税抜、以下同)、LifeSize Team 220 が 200 万円、LifeSize Room 220 が、280 万円。「フル HD 1080p 品質を 100 万円未満(税別)から提供するの業界初。」(ライフサイズ、日立ハイテク)発売は、2009 年中の予定。

LifeSize ビジネス

ライフサイズ・コミュニケーションズは、上場企業ではないため売上数値は開示されていないが、2008 年の売上高成長率は、140%以上を記録。2009 年前半の売上高は、2008 年前半の 45%以上を達成したという。

世界 80 カ国に、9,000 社以上の顧客を持つ。四半期毎に 600 から 800 社の新規顧客を獲得し、今まで 30,000 台以上の製品を出荷。「2005 年 12 月に業界で初めての HD ビデオ会議システムを発売して以来、3 年半で達成した数値になる。そのうち 30%の顧客は、ビデオ会議を初めて採用した顧客だ。当社の売上の半分が北米以外の海外から



だ。」(ライフサイズ)

ライフサイズは、端末だけでなく、すでに、インフラストラクチャー製品として、「LifeSize Multipoint」、「LifeSize Gateway」、「LifeSize Gatekeeper」、「LifeSize Networker」などの製品を提供し、エンドツーエンドソリューションの展開を強化している。

さらに同社によると、ビデオ会議システムは、大企業においては買い換え需要が主で普及が進んでいるが、同社にとって、SMB(中小企業)ユーザは大きなユーザになりつつあると見る。この SMB 市場は、5-10 年先を見通した時、成長機会が見込める市場であると考えている。

日本での国内総販売代理店である日立ハイテクノロジーでは、650 社以上の企業に導入実績があるという。日立ハイテクでは、「ハイテクビジョン」ブランドや、製品サポートやデモルーム、オリジナル製品の開発などを行う「ハイテクビジョンテクノセンター」を通して、日本のビデオ会議市場での HD 化を進めていきたいと考えている。

「今後は、どこでも、だれでも利用できるテレプレゼンスの提供という目標を超えた、あらゆる場所にテレプレゼンスを実現するという、さらに果敢な試みに挑戦していく。そのステップのひとつとして、2010 年には、さらに魅力のある製品やサービスの提供を予定している。」(ライフサイズ)

サイバネットテクノロジー、AVCON Web 会議システムのバージョンアップを発表

サイバネットテクノロジー株式会社(東京都江東区)は、同社の PC ベースの「AVCON Web 会議システム」バージョンアップを発表、大幅な機能アップを行った。(10 月 13 日)

今回追加した機能は、以下の通り。

(1)フルハイビジョンのサポート。従来のバージョンでは、4CIF(704x576)までの対応だったが、今回フル HD(1920x1080)をサポートした。HDMI 出力のあるハイビジョンビデオカメラや業務用のハイビジョンカメラ接続に対応する。また、200 万画素以上の Web カメラを使えば、最大 1600 x 1200(UXGA)の映像を取り込むことができる。

(2)デスクトップ共有機能の強化。CAD の極めて複雑なキーボード+マウス操作であっても、完全なリモートのキーボード+マウスからの操作を可能にした。またネットワークに対して効率的な配信をおこなうため、共有データは、H.264 もしくは H.263 コーデックにより圧縮しているが、データ量の上限を抑えるリミッタ機能も提供している。

(3)サーバ/クライアントソフト、録画再生ソフト全ての日本語対応。従来のバージョンでは、中国語と英語のみに対応していたが、今回日本語にも対応した。

(4)画質と音質の向上。AVCON は、狭帯域でも高品質を実現しているが、コーデックをさらにチューニングし画質と音質の向上を行った。特に音声は、デスクトップ共有時など PC や帯域に大きな負荷がかかる時でも、大幅に“音切れ”の発生を抑えた。

AVCON は、フルハイビジョンカメラや、高画素 USB カメラ、IEEE1394 接続、キャプチャーボード接続など多様な映像入力に対応し、最大 16 台まで接続できる Web 会議システム。また同時に任意の 3 つの映像入力を同時にリアルタイムで Web 会議の参加者へ配信もできる。その他、「4マルチスクリーン機能」や「マルチスクリーン・レコーディング機能」にも対応している。マルチスクリーンでは、それぞれのスクリーンに拠点の映像と音声、データ共有の画像、ストリーミング配信映像(MPEG、WMV、WMV-HD、Div-X、AVI などのフォーマットに対応)などを表示させる機能で、ドラッグ&ドロップで簡単にスクリーン間を移動させることが可能。またレコーディングは、4マルチスクリーン全部を一括で録画することが可能な機能。

マルチカメラ、マルチスクリーン、マルチスクリーン・レコーディングと3つのオンリーワン機能と同社では説明する。

その他、HTTP-Proxy、NAT、ファイアーウォールの対応、さらに、負荷分散、ネットワーク障害対策、トラフィック削減に有効なサーバ分散配置にも対応している。

アシストマイクロとインスティンクト、Web 会議システム BizNuri で販売代理店契約を締結

アシストマイクロ株式会社(東京都中野区)は、株式会社インスティンクト(東京都江戸川区)と販売代理店契約を締結し、Web 会議システム「BizNuri(ビズヌリ)」を10月1日より販売開始した。

BizNuri は、韓国 CXP 社が開発した Web 会議システム。PC とインターネット回線を利用し、映像と音声、チャット、データ共有、リモートコントロールの機能を使って多拠点会議や遠隔講義、セミナーなどが行えるシステム。

BizNuri は、最大 50 人の双方向会議、最大 100 人のセミナー開催をカバーするが、1 サーバあたりでは、最大 200 人までの同時アクセスが可能。デスクトップ共有、アプリケーション共有、WEB 共有、録画機能などを搭載。日本語、英語、韓国語に対応。

アシストマイクロは、同社の主力製品である「Xyθος(サイトス)」と BizNuri とを連携するソリューションの発表も計画している。Xyθος は、米 Xyθος Software 社が開発し、次世代プロトコルと言われる WebDAV に 100%準拠した文書管理製品。日本市場では、同社が Xyθος 日本総販売代理店契約を締結し、国内 VAR パートナー会社との協業により、Xyθος ソリューションの提案、コンサルティング、技術サポート、導入、運用を提供している。

アシストマイクロは、1976 年設立。ドキュメント管理パッケージソフトの開発と販売、業務系・情報系システムの受託開発。業務文書のデジタル化サービスなどを行っている。文書管理を業務の柱とし、業務文書の電子化、データベース構築、ドキュメント管理システムの開発販売まで行う。

インスティンクトは、2007 年設立。企業ネットワーク・セキュリティの設計、コンサルティングや保守サポートに関する業務コンサルティングを行う。日本では、インスティンクトが、販売・保守サポートを行う。

CXP 社は、「Globiz21」や「WebVicon」などの Web 会議システムを開発した韓国企業。日本での販売は、200 社以上の導入を 2007 年 1 月に達成した。BizNuri は、2009 年 7 月

より日本で販売開始。

*関連記事(韓国会議市場レポート 2005) 2005 年 2 月 15 日号

事業動向-海外

米シスコシステムズ社、タンバーク社に対して公開買付による買収案を提示、買収予定額は約 30 億 USD

米シスコシステムズ社は、ノルウェーのタンバーク社(オスロ証券取引所上場:TAA)の全発行済み株式取得に向けて、シスコシステムズ社が、現金による任意公開買付けを実施することで最終合意に至ったことを発表した。(10月2日)

買収価格は、1 株当たり、153.5 ノルウェークローネで、総額約 30 億 USD。これは、タンバーク社株の前日の終値に 11.0 パーセントのプレミアムを上乗せした金額、もしくは 3 ヶ月間の加重平均価格に 25.2 パーセントのプレミアムを上乗せした金額に相当する。

シスコシステムズとしては、今回の買収提案によって、タンバーク社のビデオ会議ソリューションをシスコのコラボレーションアーキテクチャーへ統合し、自社のコラボレーション製品を拡充する。また、デスクトップからテレプレゼンスにいたる全ての製品で企業間およびマルチベンダー間の総合運用性を実現することで、ユーザの関心を高め、世界的な市場導入のさらなる促進を目指す考え。シスコの顧客だけでなく、競合企業やパートナー企業にも利益があると同社では今回の買収の効果について説明する。

買収手続きが完了した時点で、タンバーク社の CEO フレデリック・ハルバーセン氏が、シスコ エマージング テクノロジー グループ担当 シニア バイスプレジデント マーティン・デビア氏の直属として新設の TelePresence テクノロジーグループを統括する。

タンバーク社の取締役会は、この提案の受け入れを全会一致で決議している。タンバーク社の従業員は、約 1,500 名。

買収は、2010 年暦年上半期中に完了する見込みだが、

最終的な完了日は、米国およびその他の地域における規制当局の審査を含む、通例の完了条件に基づいて決定されるという。

シスコシステムズは、今回の買収が実現すると、2011年会計年度におけるプロフォーマベースの利益が増加するものと予測している。

セミナー・展示会情報

<国内>

RADVISION SCOPIA Elite 発表セミナー

東京会場：

日時:11月5日(木)13:30～(開場:13:00)

場所:TEPIA(財団法人機械産業事業団体)(東京都港区)

大阪会場：

日時:11月18日(水)13:30～(開場:13:00)

場所:TURUYA ホール(つるやゴルフ本店 8F)(大阪市中央区)

主催:RADVISION ジャパン株式会社、VTV ジャパン株式会社

詳細・申込:<http://www.vtv.co.jp/seminar/0911elite/index.html>

Excellent Communication Summit 2009

通信・コミュニケーション分野のリーディングカンパニーが集結！

【テーマ4】 ビジュアルコミュニケーション

日時:11月12日(木) 13:30～17:45

会場:大塚商会 本社ビル(東京都千代田区)

【テーマ4】ビジュアルコミュニケーション講演企業:

パイオニアソリューションズ株式会社、株式会社ブイキューブ、ポリコムジャパン株式会社、ソニー株式会社、株式会社大塚商会

詳細・申込:<http://event.otsuka-shokai.co.jp/09/ecs/index.asp>

*イベントとしては、11日、12日午前・午後開催。

ビジュアルコミュニケーション以外には、新世代ネットワーク、モバイルブロードバンド、テレワークソリューションのセッション、基調講演、特別講演などもあり。展示コーナーでは各社の製品の展示・デモ実施。

ブロードバンドソリューションフェア 2009

日時:11月17日(火) 10:00-17:00(受付:9:30～)

会場:グランキューブ(大阪国際会議場)3階 イベントホール

主催:NTTコミュニケーションズ株式会社

詳細・申込:<https://bbsf2009.smartseminar.jp/>

*NTTコム各種ネットワークサービスの他、出展企業による、ネットワークカメラ、ビジネスフォン、デジタルサイネージ、POS システム、ドキュメントマネージメントシステムなどのブロードバンドソリューションを展示。

**テレビ会議系:沖電気ネットワークインテグレーション/沖データ、日立ハイテクノロジーズ、日本タンバーク/オーライソフトウェア、プリンステクノロジー/ポリコムジャパン。

1時間でわかる「ウェブ会議システム」セミナー ～WEB会議システム No.1 企業が教えるコスト削減 セミナー～

日時:11月13日(金)15:00-16:30

11月18日(水)15:00-16:30

*各開催日も14:45受付開始。

会場:TKP 東京駅ビジネスセンター 1号館

主催:株式会社ブイキューブ

詳細・申込:<https://vcube.smartseminar.jp/public/>

「見える」遠隔サポートで訪問不要・顧客満足度 UP!～コスト・時間・労力 Down、提案力 Up を実 現するシスコのリモートサポート～

日時:11月17日(火)14:00-15:00

会場:Web セミナー

主催:シスコシステムズ合同会社

Cisco WebEx テクノロジーグループ

詳細・申込:

http://www.webex.co.jp/jp/web-seminars/webseminar_111709.html?SourceId=m1

国土交通省主催<大阪>

「会社を元気にするテレワークセミナー2009」 ～ワークライフバランス・事業再構築からパンデミック 対策まで～

日時:2009年11月20日(金) 13:30～16:30

会場:KKR ホテル大阪(大阪市中央区)

主催:国土交通省 都市・地域整備局

都市政策課広域都市圏整備室

事務局:株式会社情報通信総合研究所

詳細・申込:<http://www.icr.co.jp/telework/>

編集後記

今回もお読みいただきましてありがとうございました。

★全国知事会が、2010 年度にテレビ会議あるいは Web 会議の導入を検討されているようです。新聞等には 10 月 11 日付けで関連の記事が出ています。

☆テレビ会議にも関連した内容の書籍が発売になりました。タイトルは、「死蔵特許 技術経営における新たな脅威:Patent Hoarding 訴訟」(榊原 憲 氏 著 2009 年 10 月 発行 定価 1,300 円)。一灯舎のウェブページに掲載されています。

<http://www.ittosha.co.jp/ISBN978-4-903532-52-3.html>

私もオンライン販売で注文して、今本の到着を待っているところです。楽しみです。

また次回も何卒宜しくお願い致します。

(橋本 啓介)